



JORNAL NIKKEY SHIMBUN

DIRETOR PRESIDENTE RAUL M. TAKAKI

Rua da Glória, 332 - Liberdade CEP 01510-000 - São Paulo - SP - Brasil

コロナ禍 CPI 政府は3カ月交渉放置、拒絶

ファイザー・南米支社長認める

本格接種開始遅れの原因に

13日、上院のコロナ禍の議会調査委員会(CPI)でファイザー製薬南米支社長のカルロス・ムリーロ氏が召喚され、証言を行った。同氏は、同社のワクチン提供に関する連邦政府との契約交渉は8月から始まり、政府が応じようとしなかったために昨年末には可能だったワクチン接種の機会を逃したと、交渉の席にボルソナロ大統領の次男のカルロス・リオ市議がいた事実を明かし、波紋を投げ掛けた。13、14日付付伯字紙、サイトが報じている。

交渉の席には大統領次男も



ムリーロ氏 (Jefferson Rudy)

ムリーロ氏の召喚も今回のCPIの中では注目度の高いものだった。それは、ボルソナロ大統領が昨年8月のファイザー社からのワクチン提供の申し出を断ったがために7千万回分のワクチン契約が反故にされたとの報道がかねてから行われていたためだ。

ムリーロ氏は今回の答弁でこの事実を認めた。同氏によると、2020年8月だけでも、14日、18日、26日の3度にわたり、連邦政府にワクチンの条件提示を行ったという。交渉そのものは同年5月か行おうとしたが、連邦政府が3カ月間、交渉の席にこの間、2波がより悪化し、3月、4月の感染者や死者急増を招いた。

ムリーロ氏はさらに同社との交渉の席に、大統領次男のカルロス氏も同席したと明らかにした。大統領府府内問題担当特別補佐官のフレイ・マルチンス氏の2人が同席していたと発言した。同氏によると、会議の時は社会通信局(SECOM)のフ

ブラジル・サッカー協会は14日、6月のW杯南米予選第5、6節に出場する代表選手24人を発表し、14日付付伯字紙に報告している。今回の代表選手は以下(キーパー)アリソン(リベリ)、エデルソン(マンチエスタ)、シニエラ、ウエヴェル(パルメイラス)、サイード(サンパウロ)、ダニロ、アレックス・サン

ドロー(共にイベントス)、レナン・ロディ(アトレチコ・マドリッド)、セシニエラ(アトレチコ・ゴイアス)、チアゴ・シニエラ(アトレチコ・ゴイアス)、マルキーニョス(PSG)、ミントン(レアル・マドリッド)、ルカス・ヴェリシマ(ベンフィカ)、ヘミッド(レアル・マドリッド)、フレジ(マンチエスタ)、ユナイテッド、フアビニョ(リベリ)、ドウグラス・ルイス(アス・トロン・ヴェイラ)、エベルトン・リベロ(フラメンゴ)、ルカス・パケタ(リオン)、フオウイド(ネイマールPSG)、ヴィニシウス・ジュニオ(レアル・マドリッド)、エヴェルトン・セボリド(ベンフィカ)、ガブリエル(ベンフィカ)、マリア・ジュニウス(マリア・ジュニウス)、フィリッポ(リベリ)、リナルド(リナルド)、ガビゴ(フラメンゴ)、レキニョ(メンバール)は現在、4戦全勝中だ。なお、6月11日から

14日のサッカーの代表発表では五輪代表候補の招集も行う。ロドリゴ(レアル・マドリッド)、アントニー(アヤックス)、ブルノ・ギマラン(リオン)など、欧州強豪で活躍中の豪華メンバーが並んでいる。親善試合などの日程はまだ決まっていない。大会2連覇を目指したいところだが、東京五輪は無事に開催されるか。

14日のサッカーの代表発表では五輪代表候補の招集も行う。ロドリゴ(レアル・マドリッド)、アントニー(アヤックス)、ブルノ・ギマラン(リオン)など、欧州強豪で活躍中の豪華メンバーが並んでいる。親善試合などの日程はまだ決まっていない。大会2連覇を目指したいところだが、東京五輪は無事に開催されるか。

環境相がアマゾン監視のポーズ?

不法な伐採や採掘の摘発現場へ

4月に起きたアマゾン州の連警署交代劇や不法伐採を行っている製材業者との癒着疑惑などで批判され、検察庁も捜査要請を出していたリカルド・サレス環境相が、法定アマゾンの不法伐採や不法採掘の監視に同伴中と11、13日付付伯字紙、サイトが報じた。

アルタミラ、イタイツィバ、ウルアラ、ルロボリス、プラカスの各市で監視活動が行われる。監視活動は、連警署や国家治安部隊(FN)、国立再生可能天然資源・環境院(Ibama)、生物多様性保全のためのシコ・メンデス研究所(ICMBio)が行う。サレス氏には、Ibama院長のエドゥアルド・フォルトゥナト・ビンチンやICMBio所長のフェルナンド・ロレンシ

二氏が同伴中だ。法定アマゾンの保護やそこに住む先住民の人権問題は国際的関心事で、18年の大統領選で当選後、食糧生産のための法定アマゾン開発や先住民居住地での鉱物採掘を擁護するボルソナロ大統領には、国内外から批判の声が出ていた。

環境省や環境監視団体の予算削減、3カ月の法定アマゾンの現場視察を続けているのを見て、警察が作戦を開

された気候変動サミットで大統領が公言した、不法伐採摘発などの約束の履行を困難にする。そんな中で始まったのが今回の監視計画で、13日には、ムンドウルク族居住地内の金採掘場所有者で、4月から逃亡中だったジルソン・スピエロ容疑者(通称ボラキニョ)が逮捕された。

同容疑者は、サレス氏が12日にヘリコプターで現場視察をしているのを見て、警察が作戦を開

開始したと思込み、慌てて市街地に逃げ込んだため、所在地が知れ、逮捕された。同容疑者は先住民居住地にシヨベルカ

法採掘した金や重機の移動をエスコートしていたヘリも押収された。同容疑者は3月に重機を使ってジャカラアカンガ市に近いバウニリヤの採掘場に乗り込もうと

大統領の擁護発言と金の価格上昇で急増中だ。昨年8月にはムンドウルク族が空軍機でブラジリアを訪れ、先住民居住地での鉱物採掘について議論したが、検察庁はこの旅行についても捜査中だ。

環境相は12日のジャマンシン市での不法採掘摘発に同行し、重機やコンピュターなどの破壊に立ち会った。13日はイタイツィバでの不法伐採されたアマゾン木を没収した。サレス氏を急襲した高規格2台車を押収したが、同容疑者は逃亡。以後、捜査が継続している。

監視団体の重機類破壊を再犯防止手段として、不法採掘は昔から行われていたが、ボルソナロに採掘を行っていた。不

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕



イタイツィバで没収された木材とサレス氏 (Soldado Bezerra (Força Nacional)/Divulgação)

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

ヘリに驚き逃げた主犯を逮捕

南米予選の代表メンバー発表

1週間後にはコパ・アメリカも

1週間後にはコパ・アメリカも

1週間後にはコパ・アメリカも

1週間後にはコパ・アメリカも

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

市人種差別や大量殺戮批判デモ

Advertisement for 'Jeitinho no Japão' book, featuring a cover image and promotional text in Japanese and Portuguese.

北伯日本語普及センター一解散

「支援頂いたのに申し訳ない」 学校減少にコロナ禍追い打ち

「センターを続け、私立校でも公立校でも通用するような日本語教師の育成をしてきたかった」と、本紙の電話取材に対し、北伯日本語普及センターの越知恭子理事長は、センター解散について「無念そうに語った。4月30日に解散の是非を問う総会を開催、参加者15人中14人の賛成で決定した。5月5日に関係各所へ解散通知書が送られた。



第8回北伯日本語教師養成講座

「センターでは年々、傘下の学校や会員が減少していった。2010年には日本語学校16校があったが、14年には9校、20年には7校、今年はいよいよ6校になった。日本語教師が入会する個人会員も過去は75人いたが、最終的に15人まで減っていた。

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

「日本語普及では各学校の協力を得て料理を作るほか、経費を可能な限り減らして収入を得ることができていました。でも昨年はパンデミックのため、それが開催できず財政面で打ちを掛けられ維持が不可能になった。日本政府やJICAが

使っていないスマホの寄付を 帰伯デカセギ子弟のために

日本から帰国したデカセギ子弟がブラジルの公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

「使っていないスマホの寄付を帰伯デカセギ子弟のために」という活動は、デカセギ子弟の公立小中学校に馴染めるような補習や心理面の支援を行う「カエルプロジェクト」が、スマホ端末122人の寄付を募っている。状況は「父や母がスマホを持っていない」という子が、ケンの

Doação de celulares

TEM UM CELULAR EM BOM ESTADO QUE ESTÁ SOBRANDO? DOE PARA AS CRIANÇAS DO PROJETO KAERU PARA USO NAS AULAS ONLINE E ATENDIMENTO!

Projeto Kaeru tem como objetivo o inclusão de filhos dos desabrigados das escolas públicas do Estado de São Paulo, oferecendo o trabalho de intervenção psicológica, social, psicopedagógica, de acompanhamento e de reforço escolar.

Telefone para contato: (11) 97484-2055
Rui: (11) 99485-5544
Yuri: (11) 99554-0528

Endereço de e-mail: ipedesc@projeto-kaeru.org.br
Projeto Kaeru
Alameda Augustus Eugênio de Lima, 395, conj. 45, Jd. Paulista, São Paulo, SP
04515-000

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像

PROJETO KAERU

寄付を募る告知画像



パウロ・フレイレ (Slobodan Dimitrov, via Wikimedia Commons)

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

「パウロ・フレイレの思想と言語教育」
交流基金第1回ウェビナー

就労者募集!

日本で働いてみませんか?

【年齢】男性45才、女性40才 (経験者は相談可) (夫婦可)

【職種】電子部品

【特典】航空券、ビザ、送迎費用不要

【条件】経験、日本語不要

時給: 男女 1,250円 / 1,300円 (昇給可)

【ASP人材情報センター】
E-mail: asp.rh@hotmail.com
電話: 011-3277-1121 / 94851-6952 (WhatsApp)

友人や近所の仲間たちが集い、すぐに新しい家を建て始めました。当時、田舎のほとんどの家は掘って立て小屋で、特に難しい作業ではありませんでした。

政孝さんが直面した悲しみや苦しみは、当時の日本人移民の間では数多く発生していた。様々な面で共通点もありました。その反面、多大な苦しみや代償でも言えようか、奇跡とも思える超力による問題の克服、或いは神の摂理とも思える奇跡のような実例も数多くありました。

当時、一つの奇跡的な出来事かとも話題になりました。ある日本人移民の家族がある日突然、大洪水に見舞われました。いつもの洪水とは違い、水量が激しく、壁をグングンと叩いていくのを最初は唯々然と見ていましたが、水高が身の前に迫り、直ちに夫婦と3人の子供、家族全員掘って立て小屋の屋根に上り、家族は水に流されずに助かった。水高が身の上を語り、家族は水に流されずに助かった。水高が身の上を語り、家族は水に流されずに助かった。

篤成

【あつなり】

著者 安慶名栄子
脚本 宮原ジヤネ 朋代
編集 宮城あきら

「俺は世界一幸せな爺さんだ」

8月号 3月号 2021年3月号 (388号) が刊行された。

「俺は世界一幸せな爺さんだ」

しにせ
老舗メルマガ

国際派日本人養成講座

伊勢雅臣

国連で勝手に「被差別先住民族」とされた沖縄の人々

とされた沖縄の人々

1. 知らないうちに国連で「先住民族」とされた沖縄県民

2018年8月30日、国連の人種差別撤廃委員会での次のような報告がなされました。

本委員会は、今までの報告、およびその他の人権機関の報告にもかかわらず、琉球・沖縄の人々が先住民族として認められていないことに懸念を表明する。

本委員会は、琉球を先住民族として認定するよう、その立場を再考し、彼らの権利を守るための手段をとることを勧告する。[CERD]

先住民とは、たとえばアメリカのインディアンやオーストラリアのアボリジンを指します。2007年に国連総会で採択された「先住民族の権利に関する国際連合宣言」では、先住民は「土地や領域、資源の回復と補償を受ける権利」を持つと規定されました。すなわち、北米大陸やオーストラリア大陸は、これら先住民が土地や資源の権利を持っており、それを取り戻すか、その補償を受ける権利を持つ、というのが、天文学的な補償額になるわけで、アメリカやオーストラリアが反対したのも当然でしょう。この決議には国際法上の法的拘束力はありませんが、反対した国々は、不利な立場に立たされません。

この決議が到着する前の北米大陸には1000万人規模のインディアンが暮らしていましたが、白人の持ち込んだ伝染病や虐殺によって、400年後には25万人に激減しています。イギリス人の入植時には数十万人いたアボリジンも、10分の1以下になっています。

先住民族の権利をどう考えるかは別にして、彼らが白人入植者が来る前からその土地にいた先住民族であることは、文句のつけようのない史実です。しかし、沖縄の人々もインディアンやアボリジンと同様の「先住民族」なのでしょうか？

驚くべきは、われわれ日本国民も、当の沖縄県民も知らないうちに、4回も沖縄の人々を先住民族として認めるべきだ、という報告が出されていることです。誰が何のために、こんな工作をしているのでしょうか？

2. 沖縄では琉球独立運動が本格化している！？

日本沖縄政策研究フォーラム理事長の仲村覚氏は著書「沖縄はいつから日本なのか 学校が教えない日本の中の沖縄史」のなかで、沖縄を国連の場で先住民族と認めさせようという動きと、中国の「琉球独立プロパガンダ」が連動している、と指摘しています。同書によると、中国の唐淳風なる「商務部研究員日本問題専門家」がテレビやネットで、「沖縄では琉球独立運動が本格化している」というプロパガンダをさかんに発信しています。中国共産党系のサイト「環球網」では、唐淳風の代表的な番組「日本の真相―琉球独立の背景―」という番組を紹介しています。

このたび、商務部日本問題専門家・唐淳風先生が中国は琉球独立運動を支持するべきという視点で琉球のインターネットに答えた。彼は、琉球独立運動は琉球だけの問題ではなく、圧迫された民族をいかに解放するかという全世界の問題であると指摘。琉球は私たちの血肉を分けた同胞であり、琉球の独立闘争の主眼は中国の戦略的安全保障にある。[仲村2018]

「被差別先住民族」として、琉球独立論はつなげています。「沖縄の人々は日本人ではない」から「独立すべき」。さらに、「彼らは中国人と血肉を分けた同胞」だから、「琉球は中国に属すべき」となるのです。「独立」とは目先のスローガンに過ぎず、その先の沖縄奪取が中国の最終的な狙いなのです。

その最終目標が「中華民族」論です。最近の中国は、ウイグルやチベット、モンゴルなど、完全な異民族を含めて「中華民族」などという主張を始めています。こんな言い方が通るのであれば、インディアン、黒人、メキシカン、アジア系もひっくるめて、「アメリカ民族」と主張することができます。

※これを読めば自然に、日本の文化や歴史に関心ももてるような話を毎週掲載しています。より多くの二世の方や日本語学習者に読んでもらい、少しでも日本に興味を持ってもらえるよう、最寄りの日本語学校や日系団体の掲示板に張ったり、普段は邦字紙を読まない兄弟や子や孫などに記事を紹介しててください。

(ニッケイ新聞編集部)

その魂胆は、「琉球の独立闘争の主な目的は中国の戦略的安全保障にある」という一文に、馬脚を現しています。沖縄の米軍基地が、中国の覇権拡張のなにより邪魔だからです。

上述の「国際連合宣言」では、先住民族の土地は公共の利益によつて正当化されるか、先住民族の同意がない場合は、「軍事活動は行わない」という条件もあり。沖縄が先住民族とされたら、日本政府がなんと言おうと、先住民族として「NO」と言える権利を持つわけです。これは米軍を追い出すための一つの武器になります。

沖縄の人々は戦後、長らく米軍統治下にあり、日本国から引き離されるという悲劇を経験しました。今度は中国の支配下に置かれるという、さらに過酷な悲劇から、沖縄の人々を護らなければなりません。それは日本国民全体の責務なのです。

3. DNA分析で実証された沖縄、本土、アイヌの血縁関係

そのために国連での「先住民族」論と中国の「琉球独立」論の正当性を、事実と論理の両面から考察する必要があります。

まず、事実として「血肉を分けているのか」とかは近年進んだDNAの分析からすでに明確な結論が出ています。分子人類学者の篠田謙一博士は、2019年刊の『新版 日本人になった祖先たち—DNAが解明する多元的構造—』で、こう述べています。

ミトコンドリアDNAのハプログループでは、沖縄には日本の古い系統であるM7Aが高率で残っています。他の地域に比べて沖縄に高頻度で見られるハプログループは、古代から続くものである可能性が高いです。

このことや、限定的ながらアイヌの人々に高率で見られること、近隣集団には見られないこと、縄文人からも検出されていることなどを考え合わせると、Y染色体のハプログループD1Bが古代日本の主要なハプログループであったことは間違いないでしょう。[篠田1679]

国連は勝手に、沖縄の人々を日本人でない「先住民族」とし、中国は「日本から独立したがっている」と主張している

4. 沖縄語は日本語の中の大方言である

人種が同じでも民族が違うことはよくあります。フランス人とスペイン人などはその例でしょう。その場合、言語が民族を分ける主要な特性になります。前述のように、沖縄の人々と漢民族は人種からして違うので、民族が違うのは言わずもがなですが、「中華民族」という暴論を否定するために、言語の違いについても見ておきましょう。

「日本の言語学界では、沖縄語は日本語の中の大方言である」というのが定説である」とは、『岩波講座 日本語1 方言』での指摘です。『岩波講座 日本語1 方言』での指摘です。『岩波講座 日本語1 方言』での指摘です。

「いつしやい」を沖縄語で「メンソーレー」などと言われると、まったく外国語のように聞こえますが、これは「参り召しおわれが」「マイリスソーレー」↓「マインソーレー」↓「メンソーレー」と変化したものと説明されています。[外間、1346]

沖縄方言は12世紀、鎌倉時代初期頃から独自の発展を遂げたもので、「それまでは日本語と沖縄語はほとんど同一かそれに近い姿をもっていたであろう」[岩波P197]とされています。「参り召しおわれ」という平安時代的な典雅な表現が残っている事から考えると、沖縄方言の方が元々の共通の姿に近いと推察できます。

中国語・・・弟弟念書
沖縄語・・・ウットー(弟は) スムチ(書物)

と、語順からして全く違います。沖縄語と日本語では語順はまったく同じで、語彙もそっくりです。ここから、以下のような断定がなされています。

沖縄語は中国語かも・・・と漠然と考えたり、多少の知識をもつても、中国語と日本語の混交語では・・・という錯覚をつくりあげている人が、意外に多い。しかし、これはあまり問題にならない考え方である。[岩波P184]

5. 琉球の中国への朝貢とは、薩摩藩による管理貿易だった

もう一つ、中国が沖縄を「中華民族の一員」として主張する根拠が、琉球が中国に朝貢を行い、冊封を受けていたことです。1372年に琉球の中山王・察度が明に朝貢を始めます。また1404年には察度の子、武寧のときに初めて中国の冊封を受け、それは1866年、最後の国王尚泰まで続いています。

こうした事実から、琉球は中国の版図内であり、だから歴史的にも「中華民族の一員」と言うのです。この主張は、論理と史実の両面から容易に論破できます。

まず論理として、朝貢や冊封の歴史が現在の国家主権を主張する根拠にはなりません。過去の朝貢や冊封があったのは中国の一部だという理屈がなりたつなら、北朝鮮・韓国もベトナムも、みな同様に、中国の一部になってしまう。中国が歴史的に沖縄を支配していた、という事実がなければなりません。

沖縄が明確に日本の実効支配に入ったのは、1609年の薩摩による琉球遠征からです。この年、薩摩藩は琉球の貿易を独占するために「捉十五条」に従つてことを求めました。

そこには、「二、中国よりのいかなる物資、物品といえども、まず薩摩藩主の許可なしに輸入してはならない」「八、全ての税及び関税の類は本土の権威ある者の定める規定、規約に則つてのみ課することができ、などの取り決めがあります。すなわち琉球から中国への「朝貢」とは形だけで、実質は薩摩藩による管理貿易だったのです。

実際に、中国は琉球内に統治のための出先機関は持っていませんでしたが、薩摩藩は常駐の在番奉行所を置き、この「捉十五条」に従つて、実効支配をしていました。

薩摩藩の琉球遠征は、学校では「琉球侵略」と教えられています。あたかも別民族である琉球を侵略したかのような表現です。薩摩を治める島津家は1600年の関ヶ原戦いで西軍につきましたが、徳川家康から薩摩の所領を認められました。これを「徳川幕府による薩摩支配」とはいけません。あくまで徳川による天下統の二ステップであるからです。その薩摩藩が1609年に未だに琉球を実効支配したのも、日本全体の天下統一の一部なのです。ただ、朝貢貿易しか許さないう中国との貿易を続けるために、あたかも別の国であるような「擬制」をたどつたこと。この擬制を解消したのが「琉球処分」です。

6. 国連の「先住民族」プロパガンダに戦いを挑んだ人々

以上のように、DNA、言語、歴史のいずれにおいても、沖縄の人々は日本人の一部として歩んできました。こうした事実根拠とともに、重要なのは沖縄県民もその他の日本国民も、同じ国民共同体的「一員」という同胞感を持つべきです。

前述の「日本の真相―琉球独立の背景―」では「現在でも琉球人の75%が独立を支持している」というようなテロップを流しましたが、これかたどてな大嘘であることは、次の事実から明らかです。すなわち「沖縄独立党」の屋良長助氏が、平成18(2006)年の沖縄知事選に出馬しましたが、得票6220票、得票率0.93%で惨敗しています。沖縄の人々にとって、「沖縄独立論」は笑い話に過ぎないのです。

しかし、そんな笑い話も何十年もかかたプロパガンダで実現に粘り強く取り組んでいくのが、中国流アプローチです。尖閣諸島にしても、1971年に正式に領有権を主張してから50年、現時点では武装した中国の公船が毎日のように領海侵犯を繰り返すところまで来てしまいました。中国のプロパガンダには「笑い話」として見過ごしたりしてはならないのです。

幸い、国連人種差別撤廃委員会での「沖縄先住民族」プロパガンダに対しては、いくつものNGO(非政府組織)が立ち上がってくれています。冒頭に紹介した「勧告」の前に、7月14日付けで「NGO REPORT」が発行され、22の団体の連名で、アイヌ、朝鮮学校、慰安婦などの問題とともに76ページもの反論を公表しています。沖縄に関しては、以下の明快な主張をしています。[NGO]

・沖縄県民はそもそも自分たちを日本人として認識しており、先住民族などとは認めない。

・日本の国会でも地方議会でも、沖縄の人々が日本人か先住民族かなど議論されたことはない。

・沖縄の人々が先住民族などという主張は捏造されたもの。

・その主張は沖縄の人々に対する差別であり、人権侵害であり、国連人権委員会の存在意義自体を否定するもの。

・沖縄の人々のためにも、ひいては日本全体のために、こういう言論戦を国連の場でされている人々の努力に敬意と謝意を表します。一人ひとりの日本国民が、本編で紹介したような論理と事実をよく認識して、こういう活動に援手を送る必要があります。

リンク

・NO.900 沖縄の祖国復帰を果たした県民の思想が「ダム」化や「香港」化の道を避け、日本復帰を果たしたのは県民の祖国愛の賜だった。

・NO.801 沖縄は中国の領土なのか？ 沖縄が我が国の領土であるのは、多くの先人たちの努力の結果である。

・JOG (393) 地球史探訪… 超速！ 沖縄・琉球史 50万部の大ベストセラーとなった面白い日本史受験参考書を読んでみよう。

【参考文献】

・CERD/C/JPN/CO/10-11-COMMITEE ON THE ELIMINATION OF RACIAL DISCRIMINATION

https://tinternet.ohchr.org/treaties/cerd/shared%20documents/jpn/cerd_c-jpn_co_10-11_32238_e.pdf

・NGO REPORT IN RELATION TO THE TENTH ELEVENTH PERIODIC REPORTS OF JAPAN

https://tinternet.ohchr.org/treaties/cerd/shared%20documents/jpn/int-cerdngo_jpn_31798_e.pdf

・岩波講座 日本語(1)方言 ★ 岩波書店 S52

・篠田謙一「新版 日本人になった祖先たち DNAが解明する多元的構造」NHKブックス(KINDLE版)、H31

・仲村覚「沖縄はいつから日本なのか 学校が教えない日本の中の沖縄史」ハート出版(KINDLE版)、ROI

・外間守善「沖縄の歴史と文化」★ 中公新書(KINDLE版)、S61

サケ稚魚、大

北海道で250万匹放流

【共同】北海道標茶町の西別川上流で、シロサケ稚魚の放流が行われている。12日は体長6センチほどに育った約250万匹が大海原に向け旅立った。透き通った川の中、群れになった稚魚はうろこをきらきらと川面に反射させながら、懸命に泳いでいた。

北海道区水産研究所虹別さけます事業所(同町)が個体数の

維持のため、4月から5月中旬に放流。昨秋に川に戻ってきた成魚から取った卵を事業所でふ化し、約半年間育てられた稚魚は虫などを餌にして川で約80キロ先のオホーツク海にたどり着く。数年後、産卵のため川に戻ってくるのは0.1~0.2%程度にとどまる。

研究所によると、西別川は水量が豊富で水温も安定しており、稚魚の成育に適しているという。

国際派日本人養成講座

発行人=伊勢雅臣(文責)

Mail: ise.masaomi@gmail.com

Twitter: https://twitter.com/ise_masaomi

無料購読申込・取消: http://blog.jog-net.jp/

